



「はじめて」は、

誰かの希望になる

4月1日、衣浦東部広域連合長として新たな一歩を踏み出しました。衣浦東部広域連合では、女性として初めての連合長です。

衣浦東部広域連合は、碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市の5市が連携し、消防や救急など命を守る役割を担っています。いざという時、確実に誰かの命と暮らしを支える、なくてはならない組織です。

私は今から37年前、火災で家族を失いました。しかし、その現実を本当の意味で受け止めるまでに10年以上の間がかかりました。心が追いつかず、どこかで目を背けていたのだと思います。それほどまでに、「命」と向き合うということは重く、簡単なものではありません。

だからこそ今、強く思います。守れる命があるのなら全力で守りたい。あの時の自分のような思いを誰にもしてほしくない。その願いが私の原点です。連合長として、組織をまとめるだけでなく、命を守る力を確実に機能させるまでが役割です。現場で命と向き合う人たちを支え、その力を最大限に引き出してみたいです。

そのために今、南海トラフ地震などの大規模災害にしっかり備えるため、様々な取り組みを進めています。職員の配置を見直し、より動きやすく強い

組織にすること。救急対応をより高度にし、多様な状況に対応できる体制を整えること。住宅火災を防ぐための対策や安全ルールの徹底を進めること。消防指令システムを整備し、迅速で的確な対応につなげる。そして、関係機関と連携し、災害時に一体となって動ける体制を作ることです。

今後は、複雑化する消防業務や大規模災害に対応するため、こうした体制をさらに強化してまいります。あわせて、市民の皆さんへの働きかけも大切にし、防火・防災意識の向上を図るとともに、救命講習の充実にも取り組んでまいります。一人ひとりが「いざ」という時に行動できる力を持つことで、救える命は確実に増えていくと考えています。

制度や仕組みだけでは人は守れません。最後に人を支えるのは、人の想いです。だからこそ、現場で働く一人ひとりと、そして地域の皆さんとともに、命を守る力を高めていきたいと考えています。

「はじめて」の立場にいる今だからこそ、これらの取り組みを一步ずつ着実に進めてまいります。そして、この一步一歩が、誰かの希望につながることを願って。

それでは、今日も一日、笑顔で。

衣浦東部広域連合NEWS

問 衣浦東部広域連合事務局予防課 ☎63-0137

6月7日(日)～13日(土)は危険物安全週間 つかみ取れ!めざす無事故の頂を

私たちの暮らしに身近なガソリンや灯油などは、消防法上の「危険物」に指定されています。これらは便利な反面、保管や取り扱いを一つ間違えると、火災や爆発などの重大な事故につながるおそれがあります。危険物安全週間をきっかけに、家庭や事業所での管理状況を改めてチェックしましょう。

▼正しく守ろう!保管のルール

- ・直射日光を避け、高温になる場所や火気の近くには置かない。
- ・必要以上の量を保有しない。
- ・地震で容器が転倒したり、落下したりしないように事前対策をする。
- ・ガソリンは専用の容器を使用し、灯油用ポリ容器では保管しない。

▼ガソリンを購入される皆さんへ

ガソリンを購入する際は、法令により本人確認（身分証の提示）及び使用目的の確認が義務付けられています。また、セルフスタンドでは、顧客自ら容器へガソリンを注入することは禁止されています。販売店スタッフの指示に従ってください。

なお、消防法の改正により、特定の条件を満たすプラスチック製のガソリン容器が使用可能になりました。「UN」と「3H1」が表示されている10リットル以下の容器で、製造日から5年以内のものであれば使用できます。

灯油用ポリ容器 ガソリン携行缶



ガソリンは、灯油用ポリ容器に入れることはできません!!



UN 3H1/Y/160/25
KT/YOB-OU 0137

△「UN」と「3H1」及び製造年（西暦の下二桁）は、ここで確認できます。